

たのしい川べ 本のリスト～10代のみなさんへ



『本能寺の敵』 ☆

加部 鈴子//作 田中 寛崇//画 くもん出版 913カ

明智光秀に仕える涼音は、明智家を守りながらおだやかに暮らしていましたが、かつての忍びの仲間・風斗が現れたことで生活が一変してしまいます。徳川家康に仕える風斗は敵なのか？味方なのか？明智光秀やその家族に忍び寄る危機に涼音が立ち向かいます。

『教室に並んだ背表紙』 ☆☆☆

相沢 沙呼//著 集英社 Fアイ

さまざまな悩みや事情をかかえて中学校の図書室へやってくる生徒。司書の先生はそんな生徒に寄り添い、声をかけたり、本を紹介したり（時には図書室の仕事を手伝わせたり）しています。「わたしたちは物語を通して、そこに生きる人たちと出会うことができる。その言葉と優しさは、きっと本物だよ。…物語に込められた願いは、あなたを救ってくれる」など、生徒にかける先生言葉の数々は、私たち読者の心もあたたかく勇気づけてくれます。

『パワーブック 世界を変えてやるチカラ』 ☆☆

クレア・サンダース [ほか] //著 ショエル・アベリーノ [ほか] //イラスト
水島 ばぎい//訳 東京書籍 159バ

あなたはチカラを持っていますか。では、チカラって何だろう。自分よりチカラのある人は？ない人は？世の中は色々なチカラで出来ています。あなたには変えるチカラあるはずです。

『れんげ野原のまんなかで』 ☆☆☆

森谷 明子//著 東京創元社 Fモリ

図書館を舞台に起こるささやかなミステリー。

主人公の文子は街外れの野原の中にある図書館で働いている新人司書です。この本の中には、閉館後に居残ろうとする少年たち、本の配置を乱す謎の人、高額な図書を盗もうとする人たちが登場します。でも、ご安心を。すべて図書館の本が力を貸してくれて、文子が謎を解いて万事解決します。

『星のかけら』 ☆☆

重松 清//著 新潮社 YBF シゲ

いじめにあっている小学6年生のユウキは、どんなことにも耐えられるというお守り「星のかけら」のことを知る。でもそれは、交通事故で人が亡くなった現場にしか落ちていないという。探していたある日小さな女の子のフミちゃんとの出会い、「生きる」ということの本当の意味を知ることになる。

『セラピードッグのハナとわたし』 ☆

堀 直子//作 佐竹 美保//絵 文研出版 913ホ

おばあちゃんが入所している老人ホームで出会ったのは、セラピードッグ見習いのハナ。人間に捨てられ赤ちゃんをなくしたハナは臆病で悲しそうな目をしてた。そんなハナと自分を重ね合わせた花菜はハナをセラピードッグにするための訓練を一生懸命頑張っています。